

災害はいつでも起こる可能性があります。私たちは、梅雨時期に防災についての記事を作成し続けています。災害とは、洪水や土砂崩れ、地震、台風接近という出来事ではなく、それによって人的な被害や社会生活に支障が生じる事態を指すそうです。非常時の対策はもちろんですが、普段できることを考えることが必要です。



DISASTER PREVENTION

防災・減災について 話をしたこと、考えたことがありますか？

市町村から発表される避難情報（内閣府 防災情報のページ）

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5の緊急安全確保の発令を待ってはいけません。警戒レベル4の避難指示までに必ず避難！

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保※1
警戒レベル4までに必ず避難！			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示※2
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難※3
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報（気象庁）

※1市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。

※3警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

出典：内閣府 防災情報のページ https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/

警戒レベル3で避難に時間を要する人は避難を！

避難に時間を必要とする人は、どのように避難するのか、協力してくれる方はいるのかなどを日頃から考えておくことも必要です。一人で考えず、地域の方などと話し合いをして、避難訓練もしておきましょう。**家族だけでなく、近所・地域とのコミュニケーション**をとることを意識することは、いざという時の大きな助けになります。お住いの都道府県、市区町村では、ハザードマップを作成し公表しています。土砂災害の危険箇所、予想される浸水の深さなどの情報や避難場所が表示されています。防災・減災について考えるきっかけとして**ハザードマップを確認してみましょう。**

あさクリ コラム COLUMN 「防災・減災を知る」

内閣府のホームページには、防災情報ページがあり、災害被害を少なくする取組や減災について知ることができます。「減災のてびき」「みんなで減災」「7つの備え」など、日頃からの取組が紹介されています。インターネットを見ることができない方もいると思います。まずは家族・友人・ご近所の方と一緒に見てみませんか。【内閣府 減災】で検索すると見つけやすいと思います。